

第3回 小金井市都市計画マスタープラン（素案） 市民説明会	
日時	令和3年12月26日（日）14:00～15:30
場所	東小金井駅開設記念会館（マロンホール）2階会議室
出席者	10名
配布資料	資料1 小金井市都市計画マスタープラン（素案） 資料2 小金井市都市計画マスタープラン（素案）（概要版）
<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課長挨拶＜省略＞（事務局） ・配布資料確認 <p>2. 資料説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明用動画上映 ・補足説明＜省略＞（事務局） <p>3. 質疑応答</p> <p>【市民1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4・11号線に平行する二枚橋を通る道路は抜け道になっていて、連雀通りから二枚橋の間でここ最近、ほぼ毎月交通事故が起きている。交通整備員がいる時間帯もあるが、脇から入ってくる車にいて、安心安全とは全然かけ離れているのではないかと。全時間帯、居住者以外を入れないようにするなど、警察と連携して交通状況の改善を図っていただきたい、この計画と連携していただきたい。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二枚橋へ行く道が抜け道となっていることは承知している。東京都が調査した結果、6割以上の車が抜け道として利用しているという調査結果もある。交通規制の誘導で対応しているが、ご意見は担当課に伝える。 <p>【市民2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間報告時のパブコメで、3・4・1号線、3・4・11号線は反対意見がはっきり出ているにも関わらず、今回またパブコメをしている。同じことを時間をかけてやっている。市民の声は、中間報告の段階で出ているのに、改めてパブコメをする理由が分からない。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間報告案のパブコメは、今回の資料では第2章までを示したものである。今回のパブコメは、第4章までの全体を示したものであり、第2章までの部分は中間報告時のパブコメを踏まえた修正をしたものとなっている。前回の中間報告時と、今回の素案ではパブコメの意味合いが異なる。 	

【市民3】

- ・パブコメでも、これまでのアンケートでも、道路整備は不要で、小金井で大事なものは自然、みどりを守ることというのが市民の声として全面に出ているが、今回の素案は、前回のパブコメを踏まえて変えたところが、あまりパツと見えてこない。
- ・P26は、色々な苦勞の結果、このような表現にしたと思うが、残念ながら前文には全面的に見直すというニュアンスはあるが、下の方の広域幹線道路、幹線道路の中では、全くそのニュアンスが消えている。
- ・中間報告のパブコメを反映するのであれば、広域幹線道路、幹線道路は、全面的に原点に戻り、社会情勢を踏まえて見直すというニュアンスを出さないと、最初の入り口だけ若干匂わせておいて後ろで全然それが出てこないのが問題だと思う。
- ・P12では、第5次基本構想がベースとなり、これを踏まえて今回の都市マスが作られていると示されている。しかし、いかそうみどりに対応する基本目標がなかなか出てこない。利便性や円滑な移動も大事だが、今、市民が期待しているのは小金井の宝であり、財産である自然保護をきちんと欲している、ということである。これまでの色々なアンケートもそうである。基本構想につながるマスタープランの目標が出てこないことが、一番問題だと思う。

【事務局】

- ・道路と基本計画について総括的にお答えする。都市計画マスタープランは都市計画法に基づく都市計画決定や関連計画の継続性が求められている。都市計画決定されている道路は、基本的には将来における事業の円滑な施行を確保するために、建築行為の制限もされている。一方で、周辺と比較して、固定資産税や都市計画税の負担を軽減する措置も行われている。このように、都市計画道路は法令に基づき決定されており、事業化が予定されているため、法令に基づく措置がされている。これらの実情を踏まえて、行政としては記載をしなければならない。しかし、市の方針は、補足説明のとおりであるので、その方針を読めるようにもしている。

【市民3】

- ・行政の計画性や法令に基づき決まったものと言っているが、一方で、都市計画の基本の思想として、環境変化が激しい上に動的な視点を基本にすると書いている。5年ごとの基礎調査、交通量を調べたり人口の動向を調べたり、そういうことで計画は見直すのが前提にあることがはっきり書かれている。とにかく、5年ごとに見直しをして、間違っただけはとにかく直すという視点で見直すべきではないか。
- ・P26の前段で、全部見直すことを含めているのであれば、やはり道路建設は駄目ということと、広域幹線道路と幹線道路でそのニュアンスが出てこないのでも、どうしても書けないのであれば、個別の広域道路はこうするなど書いて、一番最後に全面的に見直すという流れにしないといけないのではないか。

【事務局】

- ・市民意見を反映させ、素案を提示している。最上段にある整備方針は、広域幹線道路、幹線道路を含む、全ての道路を含んだ表現と考えている。

【市民4】

- ・今年2月の中間報告では色々書かせていただいたが、今回、すごく努力された跡が見られる。P26については、ちょっと書きすぎというところもある。
- ・何を目的としてパブコメをしたのか。市民が感じていることとして、見直しという大きな問題があるのであれば、見直しの方法は都市計画運用指針に書いてあり、区域マスとの調整方法が書いてある。
- ・市長も2年前の市長選から言っているように、市民が納得しないことは実際にはやらないと言っている。市長が率先して言っていることなので、職員の皆さんも、その意図を踏まえて、市長と一緒に、指針に従って、正々堂々やれるはずで、やってくださいと書いてある。
- ・国にも確認したが、区域マスと市の調整事項は上手くやってくれとしか言いようがないという回答だった。そのため、やったらどうか、という気持ちがある。基本的なこととして振り返り、見直すならどこまで見直すのかという話をしなければおかしいのではないかと。
- ・国も言っている、都も知っている、市も知ってる、ということならば、市からの調整項目として取り上げ、やった方が良くと思う。まさにこの見直しの機会ですごくの事だと思ふ。
- ・P2に位置付けがあるが、この思想も触れても良いと思う。このことは、何回も言っているが、市民から提案されていることを、どのように受け止めているのか。

【事務局】

- ・今回の2路線については、都施行路線である。
- ・市長の要望や市の方針を読み取れる表現としたい。

【市民5】

- ・P74の目指す将来像で、野川及び大規模公園など豊かな自然をいかした、とあるが、いかしたという表現が、すごく曖昧な感じがする。なぜ、守ることをもっと積極的に保全するとならないのか。東京都が権限を持っているという話と関係があるのか。野川地域はこうしたい、という小金井市の意思をもっとはっきりさせた方が良くはないか。
- ・その下に、緊急輸送道路に指定されている、とあるが、東京都の説明の中で、2路線は府中市との直結など災害時の道路という話が良く出てくる。そのことを言っているのであれば、先程の課長の答弁とは矛盾があり、ここでは指定されているとはっきり断定している。
- ・耐震の問題は全市の問題であり、野川地域だけ目指す将来像の中に出てくるのが気になる。あえてこの言葉を入れることにより、3・4・11を作る理由としているような疑いの目を持ってしまう。本当にこれで良いのか。

【事務局】

- ・他地域では、無電柱化予定路線があることを踏まえた内容としているが、野川地域は無電柱化予定路線が無いことから、このような表記としている。道路計画とは無関係であり、まちの特徴として捉えていただきたい。

【市民6】

- ・全体的に沢山地図があるが、どの地図でも都市計画道路が縦横無尽に走っていて、小金井市のまちづくり、都市計画は、要は都市計画道路が基本で、それに付随して色々なものがあると見える。そういう意味で、市民目線が少ないのではないか。
- ・道路についても、歩行者の立場に立つという観点を、もう少し広げて欲しい。狭あい道路も歩行者にとっては危ない道路である。二枚橋に通じる道もそうだが、連雀通りの狭いところについては、市には以前から要望は出ていると思う。建替えや宅地開発の中で狭あい道路の拡幅などがP27に書いてあるが、二枚橋に通じる道は、結構建て替えや売買され新築されたりしているが、この道を少し変えるようにするなどが行われた形跡は全く見られない。折角ここに書くのであれば、具体的に、ここを今後計画的に進めていくなど、そういうことを書くべきではないか。
- ・連雀通りを拡幅できないので3・4・1を作るという話をしているが、3・4・1もそうだが、仮に事業認可が下りたとしてもできるのは何年後か。早くても7～8年、長いところでは30～40年かかることが普通である。そうすると、5年、10年ではなく、30年、40年後の話になる。それまでは周りの人は我慢しろと市は言っていることに等しいと思う。
- ・折角、狭あい道路の拡幅ということを書くのであれば、抽象的ではなく、具体的にどこをどのような形で進めていくのか、ぜひ明記して欲しい。
- ・また、歩道の段差が激しいところもあるので、生活道路に重きを置いた記述にして欲しい。市民にとっても、ここを計画的に進めていく、ということが目に見えるようにして欲しい。

【事務局】

- ・狭あい道路に関しては、まちづくり条例や指導要綱などで、一定規模以上の開発についてはセットバックを要請している。

【市民2】

- ・市長は、3・4・1については見直し、3・4・11については賛同しかねると発言している。東京都は常に建設をしたいという話をしているが、環境問題を考えると、長期的な視点に立った道路建設の是非が問われる時代になっているのではないか。
- ・3・4・1と3・4・11は違った意見となっているが、3・4・11についても、3・4・1と同様に見直すという表現にすべき時期に来ているのではないか。

【事務局】

- ・2路線を特出しして、都に出している要望を市の方針として書くのは難しい。

【市民2】

- ・都市マスの上位にある、基本構想や基本計画で、もう少し書いていくことはどうか。基本構想を中心として、小金井市のまちづくりは、やはり自然環境保全、自然が中心にあるべきと思う。基本的な原則として、環境保全に抵触するような道路は、整備対象から除かれるべきだと思う。

【事務局】

- ・基本構想、基本計画では、一般的なこととして、必要な物は作るとしている。
- ・都市マスは環境分野も大切であり、優先順位をつけることはできない。地元の課題解決に向けて、その時々で個別性があるため、特定分野を優先することを決めることは難しい。

【市民3】

- ・P17で、5つの基本目標と分野に分け、それぞれ展開されている。中間報告のパブコメの意見は、これら5つが並列に書いているが、小金井としてどのようなまちにしていくのか、という指摘ではないのか。
- ・道路問題で、小金井の貴重な自然が破壊されるという市民の危機感がある中で、いずれも大事で優劣がつけられないという話であり、中間報告のパブコメの回答も同様に、5分野のいずれも大事である、という話であった。
- ・また、マスタープランは個別問題に触れるものではない、という話もあるが、2路線に関しては、個別問題として問題提起をしているのではなく、環境を優先する街にするのか、利便性を優先する街にするのか、そこを問いているのであり、前回のパブコメの意見もここに集中していると思う。
- ・5つの分野について、20年先、どういう基準でまちづくりをしていくのか、これを市民は問っている。どれも重要という回答は、この時期に合わないのではないか。

【事務局】

- ・道路整備と自然保護についてだが、どちらかを優先させることをマスタープランに位置付けることは難しく、個別性が高いと考えている。
- ・一般的には、道路は都市施設であり、重要な都市基盤である。都市基盤整備が遅れると、交通不便地域は解消せず、C o C oバスも通らない。今後の高齢化社会の中で、パーソナルモビリティなどが使える広い道路の整備は、都市計画の中では大切である。
- ・道路整備と自然環境については、個々で優先順位をつけていくことになる。整備されていない公園なども整備していく必要があるため、必要なものについては整備を進めていく。
- ・自然と調和が保たれた街としていきたい。

【市民3】

- ・自然を第一に目指すまちづくりということを、なぜ書けないのか。

【事務局】

- ・一般的な表現としては十分書いている。2路線について、自然が重要だから見直すという表現は難しい。

【市民3】

- ・法に基づき、見直しを都に申し出すればよいのではないかと。

【事務局】

- ・権限を越えて出すのは難しい。

【市民6】

- ・個別の事は書けないという話だが、現行マスタープランは優先順位を付けている。3・4・1は見直し、3・4・11は整備推進、他の路線も、いくつかは整備推進としている。
- ・したがって、個別路線をマスタープランで書けないことは全くないと思う。小金井だけでなく、他市の都市マスでも個別路線を示しているところもあり、理屈にならない。
- ・2路線は、市長が言っていること考え方を伝えるのではなく、具体的に市民の賛同を得られないので賛同できないと、市長が言っている事と同じ事しか書けないと思うが、そういう事を表明している、東京都に伝えていると、書くことは問題ないと思う。これは、市として表明していることである。
- ・できることと、できないことを分ける必要がある。自然と道路、どちらが上か下か言えないという話だが、今、このことが言えない行政はあるのか。自然環境が最優先は、日本や世界の常識ではないのか。小金井市も気候非常事態宣言を出している。何十年後、子ども達が住めなくなるような状況になりかねない中で、道路が大事か、気候が大事かが言えないことは、市としての公式な態度だとしたら、大変な問題になるのではないかと。
- ・狭あい道路を優先することはできないという話だが、明記できないのであれば、交通誘導員を1日中付けるなどの形を含めて、生活道路で交通事故が多い道路、危険な道路は対策をとるような表現にして欲しい。
- ・マスタープランを見て、市民が、ここに良いことが書いてある、自分たちの生活・暮らしに直結している、そういう内容が見えるようなマスタープランにして欲しい。可能な範囲で具体的に書く必要があると思う。

【事務局】

- ・道路に関しては、これまでの説明のとおりである。
- ・気候非常事態宣言については、市長から指示されている。
- ・狭あい道路に関する、交通誘導員に関しては、関係課と共有するとともに、危険な道路箇所については点検をしていく。

以上